

ブロック別支部 HP 責任者リモート交流会 議事録 (A ブロック)

- ▶ 開催日時 2022 年 01 月 8 日 (土) 13:00~15:40
- ▶ 参加者 (栃木) 萩野谷:司会 (北陸) 津田 (京都) 森 (北大阪) 中田 (兵庫東) 平井 (山陰) 佐伯 (文責) (岡山) 久米 (本部) 中山委員長、東事務局 (HP 委員) 吉田、森本、村松、中村 (敬称略、順不同)
- ▶ 中山委員長ご挨拶
 - ・各ブロックの活発なリモート交流会を開催中。
 - ・会員とのコミュニケーションプラットフォームとして、PDCA サイクルを回しながら、支部 HP のありたい姿を目指していく。
 - ・個人認証登録は着実に増加し、現状 44%から、2022 年 12 月には 50%達成を目指す。同時に、HP アクセス数は月 3 回以上を目標とする。
 - ・2022 年度活動計画について
基本の考え方: 仲間とともに笑顔で楽しく生き生きと
取り組み☆双方向コミュニケーションプラットフォームとなる HP の構築☆魅力あるコンテンツの投稿☆WP の更なる活用による、本部・支部 HP の高位平準化への取り組み強化
- ▶ 司会の萩野谷氏より、あらかじめ準備頂いた資料「A ブロック第 3 回リモート交流会討議資料」に基づき、HP 投稿数の増加に向けた取り組みの討議を行った。
- ▶ <共通テーマ>
HP 投稿数の向上について
 - 北陸: SSO 認証登録が少ない。会報の中に SSO 認証登録手順を載せる。他の支部さんでの事例があれば参考にしたいので教えて欲しい。北大阪支部と村松委員より事例提示あり。
 - 北大阪: HP 運営は 15 人体制を構築、16 クラブには広報担当を設置し、年間投稿内容を決め、強力で推進している。新着情報は、毎月の始めに、前月の内容をまとめてメルマガで発信し、会員に知らせる。スマホ画面への対応も加速中。
HP の双方向性について発表あり。コロナ禍で地区担当との直接的な連絡が取りにくくなっている。この解決策として、HP の双方向性が必要であることを担当者間で共有した。
 - 京都支部: 投稿実績は同好会 10 人/13 クラブ、支部役員 5 人/17 人で、クラブは人が変わっても引き継がれるので問題ないが、支部役員の投稿が停滞していた。そこで、来年度から、2 回/月の投稿を、支部役員が順番で行うこととした。これで、月 2 件の投稿数 UP と支部役員のスキル UP となる。SSO 認証登録拡大の取り組みで、1.3%UP。会報で A4 サイズ 1 頁掲載済み。HP より見られるので参考にしたい。スマホ画面への対応を推進中。
 - 兵庫東支部: ホームページのトップに SSO 認証登録のリンクを張っている。メールでも認証依頼をしている。また、YouTube の画面を張り付けるとスマホ画面に縦線が発生する。これについて、中村さんより別途解決案を提示あり。
投稿数の割に、UU 数が上がらない。コンテンツ分析でも、同好会や会員紹介も多く、バランスが良い。SSO 認証も高く、これで、UU 数が上がらない原因が解らない。メルマガと UU 数は相関あり、

メルマガを更に UP するのも手段である。

●山陰支部：SSO 認証未登録者に対し、役員が電話で依頼。メール登録に拒否反応の人もいるが、登録者数は増えた。今後も、依頼を続けていく。投稿数に関しては、毎月投稿がゴルフと地域活動のみ。今年から、脳トレ問題を投稿予定。投稿数 UP のため、支部役員会の議事録も UP を検討。他の支部の「いってきました」や「やってきました」を参考に、気軽な投稿数 UP を検討する。

●栃木支部：投稿のスケジュール化を行っている。投稿数を確保するため広報部会で隙間を埋める様「会員の活動、新しい日常、同好会の仲間たち」等の投稿を依頼している。また、投稿ごとに、メルマガで、会員に発信している。メルマガを発信すると、UU 数が UP する。

●枚方南支部：投稿のスケジュール化を行っている。特に、内容が豊富。支部役員は月 1 回メルマガを出すこととしている。同好会の中でもメルマガを出し交流を深めている。

自由投稿コーナーを開設。興味深い投稿あり。

●岡山：投稿数は一定で、月 10～11 件。「みんなの広場」を開設し、広く投稿を求めたが、ほとんど広がらない。←（内容は良いが、キャッチを柔らかく、誰でもできるようにみせる） HP のスマホ対応を行うと、UU 数が UP した。これからも、スマホ対応を推進する。

<最終まとめ>

●支部 HP のありたい姿（PDCA の構築）

A ブロック各支部の現状を 6 項目にまとめ、全員で討議する。各支部の取り組みで優れている点や劣っている点が明らかになり、各支部が必要な項目を取り入れ、今後、投稿数や UU 数の UP につなげていく。

●中山委員長：ブロック内での気づきがあった。今後、他のブロックにまたがった気づきの共有ができればよい。全体の気づきの共有化ができるように 3 月の発表会の方法を考えている。

●「支部 HP のありたい姿」の各項目を、必要に応じて変更や足し合わせを行い、完成させる。これを A ブロックの発表とする。

最後に、吉田さんより

HP のありたい姿を追求していくことが HP 委員の役目である。HP の中期計画の冒頭で、「見て楽しく親しみやすい HP を目指して」となっており、ここをどう具体的にするか。これが双方コミュニケーションなどである。数値目標を持って取り組むことにより、見える化ができる。ここ 4 か月間を見ていると各支部とも閲覧数が伸びているのと、SSO 認証で北大阪支部が 9 月末 45.7%→12 月末 50.6%、山陰支部で 38.9%→45.8%と大きく伸び数字に表れてきている。最後に、継続した HP をつくるための HP の組織化、人が変わっても更なる進化ができる体制づくりを進めてほしい。

以上